

暑さ指数 (WBGT) が高いときの下校について

多治見市立池田小学校

1. 基本的な考え方

※暑さ指数 (WBGT) は、池田小学校のグラウンドで「熱中症指数計」で測定した値をもとに判断する。

※下校時刻時点で、暑さ指数 (WBGT) が「 33°C 以上」の時は下校しないで学校に留め置く。

- ・児童のみで下校する場合は学校に留め置く。
- ・スクールバス利用児童は予定通り下校。
- ・お迎えの場合は予定通り下校。
- ・学童の場合は学童へ行く。

※暑さ指数 (WBGT) が「 33°C 未満」に下がってから下校する。

- ・暑さ指数 (WBGT) が「 33°C 未満」に下がった時点で、児童のみで下校する。
- ・最長17:00まで学校に留め置く。

※17:00をすぎても、暑さ指数 (WBGT) が「 33°C 未満」に下がらない場合は、保護者による学校への引き取りをお願いします。

<参考>暑さ指数 (WBGT)

◎気象庁発表の「熱中症警戒アラート (WBGT 33°C 以上の予想情報)」の発表を酷暑日の判断基準としつつ、児童の活動を考える。

- ◆ WBGT 33°C を超えたとき・・・運動・屋外活動は中止 (厳守)
- ◆ WBGT 31°C を超えたとき・・・運動・屋外活動は原則中止
- ◆ WBGT 28°C を超えたとき・・・激しい運動等は控える

2. 登下校について(熱中症予防のため)

- ・マスクを外して登下校することを推奨する。
- ・日傘, 帽子, 冷感タオルの使用を推奨する。
- ・安全な場所, 日陰での休憩, 水分補給(スポーツドリンク等の奨励)を適宜行う。

35

熱中症対策について

令和4年6月
多治見市教育委員会

★市内各小中学校にあっては、熱中症対策を下の「表3-1」を参考に、右の「対応1~2」に示すように行っていただくようお願いいたします。

熱中症環境保健マニュアル2018 (環境省)

★急に暑くなった日や活動の初日などは特に注意!
★汗をかいた時には塩分補給も忘れずに!
★異状を感じたら、すぐに休ませ体を冷やし、水分補給
★呼びかけに対し返事がかしい、意識がない時は躊躇することなく救急車を要請し、病院へ搬送

これで見極め!			表3-1 熱中症予防のための運動指針	
暑さ指数 (WBGT) (°C)	球温 (°C)	乾球湿度 (°C)	熱中症予防のための運動指針	
31	27	35	運動は原則中止	特別の場合以外は中止。特に、子どもの場合は中止すべき。
28	24	31	厳重警戒	激しい運動・持久走は避ける。積極的に休憩をとり、水分補給。体力のない者、暑さに慣れていない者は運動中止。
25	21	28	警戒	積極的に休憩をとり、水分補給。激しい運動では、30分おきぐらいに休憩。
21	18	24	注意	死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意。積極的に水分補給。
			ほぼ安全	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分補給を行う。市民マラソン等ではこの条件でも要注意。

1) 環境条件の判断には暑さ指数(WBGT)が望ましい。
2) 乾球温度を用いる場合は、湿度に注意する。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。

【対応2】
 ① WBGTが 31°C 以上!
 ●特別な場合以外は原則中止!
 ② WBGTが 33°C 以上!
 ●運動・屋外活動は中止!
 ※活動場所で測定!

●校内へ情報を周知し、気温上昇に留意する!
 (児童生徒、職員へ情報を伝え、適切な気温測定をする。)
 ●さらに一人一人をよく見届け、水分補給、休息等の対応をする!
 (職員が指示をして必ず上記対応をする。)

●各活動内容や場所、天候・気温・風速に留意し、児童生徒の健康状態を把握し、積極的に水分補給、休息をとるなどの対応を継続して行う。

熱中症警戒アラート発表!
 ■WBGTが 33°C を超えると予測された日に発表される
 ■午前10時 防災無線&メールにて周知

3つのチェックポイント!
 ①足の動きや痛み ②目の赤み
 ③嘔吐は脱水や食中毒への兆候